

【取組内容】



- 経済活動を通じた地域貢献と持続可能な課題解決を目的として、**フェアトレードやカーボン・オフセット、COOL CHOICEを活用した商品開発・販売を展開。**
- 企業からの依頼で共同開発した規格外品のりんごを使った商品は、コロナ下で賞味期限が切れそうになった際に、商品を原料に変える発想でアイスに作りかえることで、**食品ロス削減にも貢献。**
- 一連の商品開発・販売は、**生産者や消費者、企業など地域社会を巻き込んだ取組**となっており、フェアトレードの認知度や環境に対する意識向上につながっている。

【評価ポイント】

- 生徒自らが主体性を持ち、地域社会を巻き込んだ本取組は、「持続可能な社会の創り手」育成にも寄与。

SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

普遍性	フェアトレードやカーボン・オフセットは地産地消の取組と組み合わせることも可能なため、他地域にも普及可能。
包摂性	フェアトレード製品を使った商品開発や販売、企業へのフェアトレード製品活用依頼等を通じて、フェアトレードの認知拡大に寄与。
参画型	商品開発を通じて、消費者だけでなく生産者にもアプローチを行うことで、多くの人を巻き込む工夫を行っている。
統合性	それぞれの取組を組み合わせることで、経済・社会・環境の複数課題に対して同時に取り組んでいる。
透明性と説明責任	生徒によるアンケート実施や様々な研究発表大会で得られた評価結果から、新たな課題解決に向けた取組を展開している。

